

平成 22 年 3 月 15 日

各 位



会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鎌 田 富 久
(コード番号 4 8 1 3 東証マザーズ)
問 合 せ 先 社 長 室 長 須 田 昌 樹
(T E L . 0 3 - 5 2 5 9 - 3 5 6 4)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 3 月 15 日開催の取締役会において、下記のとおり平成 22 年 1 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件は、平成 22 年 4 月 27 日に開催予定の第 26 回定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 21 年 12 月 10 日 公表)	前期実績 (平成 21 年 1 月期)
基 準 日	平成 22 年 1 月 31 日	同左	-
1 株 当 た り 配 当 金	500 円 00 銭	0 円 00 銭	-
配 当 金 の 総 額	1 億 9,586 万円	-	-
効 力 発 生 日	平成 22 年 4 月 28 日	-	-
配 当 原 資	その他資本剰余金	-	-

(注) 純資産減少割合：0.003 (小数点以下第 3 位未満切り上げ)

2. 理由

当期の期末の配当予想につきましては、前回公表 (平成 21 年 12 月 10 日) 時点では、0 円 00 銭としておりました。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題と位置付けており、内部留保の充実に留意しつつ、事業展開の状況と各期の経営成績を総合的に勘案して、安定的な利益還元を行うことを基本方針としてまいります。

当期の期末配当につきましては、関係会社株式評価損を計上したことにより単体の当期業績が損失計上のやむなきに至り、かつ当社を取りまく経営環境は今後も厳しい状況が予想されるところではありますが、株主の皆様のご支援に應えるため、その他資本剰余金を原資として 1 株当たり 500 円の配当とさせていただきますことといたしました。

(ご参考) 年間配当の内訳

基 準 日	1 株 当 た り 配 当 金		
	中間期末	期末	年間
当 期 実 績	-	500 円 00 銭	500 円 00 銭
前期実績 (平成 21 年 1 月期)	-	-	-

以 上